**タイトル「　調理員さんの手伝いをしよう　～えんどう豆のさやむき～　」**

**大阪府立堺支援学校　平成３０年５月１５日**

**【活動内容（事前）】**

・給食室からの手伝い依頼の手紙を担任が紹介する。

→えんどう豆のさやむきの手伝いをがんばろうという意欲を喚起する。

**【活動内容（序盤）】**

①調理員さんの手伝いをするために大切なことを知る。

→衛生的に作業を行わなければいけないことを伝えておく。

**【活動内容（中盤）】**

②衛生的な手洗いを知り、実践する。

　→６つの洗い方をイラストとともに分かりやすく提示し、実践しやすいようにする。

　→手が洗いづらい生徒は、担任が補助する。

③えんどう豆のさやむきをする。

　→1つのさやに何粒入っているかを生徒に数えさせ、楽しく活動できるようにする。

→生徒に応じてさやむきに必要な道具を用意する。

**【活動内容（終盤）（事後）】**

（時間が取れなかったので、翌日の給食時間に教室を訪問して。）

④さやむきをした感想を交流する。

　→翌日の給食メモを通してさやむきの活動を振り返るとともに、自分がむいた豆が給食になった喜びを味わう。

**【成果物・授業風景写真】**

**【子どもたちの感想】**

・明日の給食の豆ごはんが楽しみ。

・たくさん豆がむけたのでうれしい。

・何個豆がむけたかな。

・むけなかったのは誰がむくのかな。

**【教職員の感想】**

・１人で豆をむくのが難しかった生徒も、むき方のコツをつかみ、作業の後半には１人でむけるようになっていた。

・生徒たちがとても楽しんで活動していた。生徒たちは全部むきたいという意欲を見せ、一生懸命取り組んでいた。

**【取組みでの気づき】**

○えんどう豆のさやむきから、「豆はどこでとれたの。」「安全な食べ物を選んでいるの。」など普段食べている給食につながる疑問をもつ生徒もいた。それを日常的な指導につなげたい。

○手洗い指導は、別の時間にした方がよいと感じた。また、むき終えられる量を考えて、全てできたという達成感を味わわせるとよいと感じた。

|  |
| --- |
| 活動内容　総合の時間に、中学部Aコース、Bコースの１４人の生徒と調理室で、えんどう豆のさやむきをしました。 |

